

下水道部門における温室効果ガス排出抑制等指針のマニュアル作成に係わる  
検討支援調査

調査研究年度：2015 年度

資源・エネルギー循環の形成

政策支援調査研究

(目的)

温室効果ガス排出抑制等指針を改正する告示が公布され、下水道部門における排出抑制等の措置が追加されたことに伴い、指針マニュアルの策定が進められている。

本調査は、マニュアル策定の支援を目的とし、情報の収集、基礎資料の作成等を行った。

(結果)

(1) 温室効果ガスの排出抑制等に資する設備の選択に係る解説の検討・作成

既往資料を基に地球温暖化防止技術の個票を作成した。個票を作成した対象技術は、水処理設備、汚泥処理設備等を対象とした 24 種類で、技術概要、導入効果および出展を記載した (図-1 参照)。

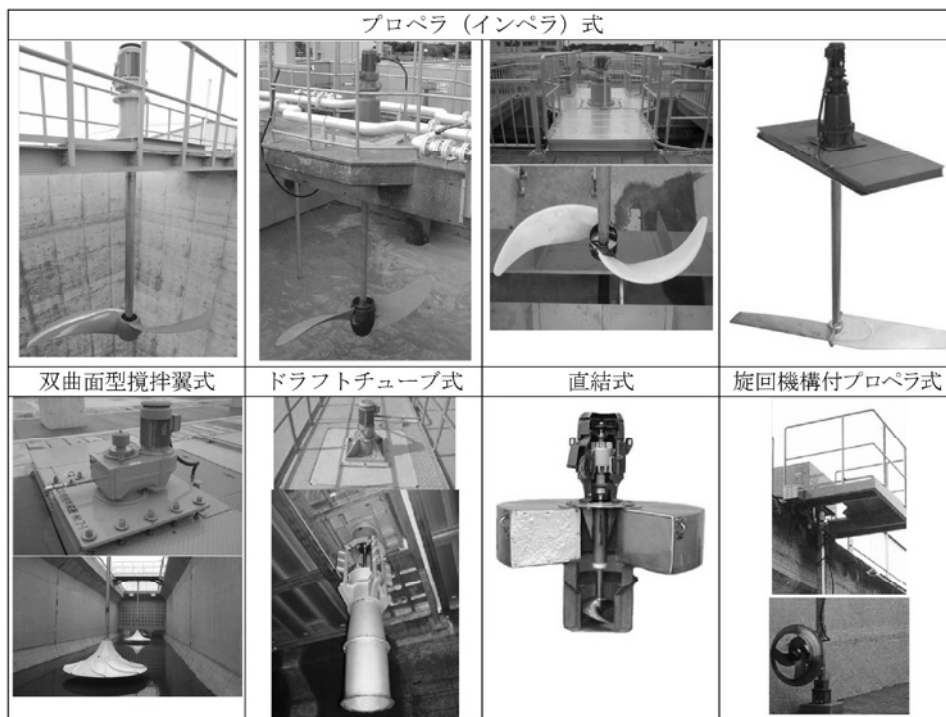


図-1 地球温暖化防止技術の例 (高効率反応タンク攪拌機の導入)

(2) 現状の温室効果ガス排出量評価方法の提案

各処理場の水処理方式、処理水量等の特性に応じた既存施設の温室効果ガス排出量の平均的な値 (全国平均値)、および全国平均値を踏まえて代表的な対策を講じた場合の排出量 (対策目安値) の算出方法を示した。これにより、現状における温室効果ガス排出の状況を定量的に評価することが可能となる。

(まとめ)

本調査では、情報の収集、基礎資料の作成等を通じて、下水道部門において温室効果ガス排出抑制等指針に効果的に取り組むためのマニュアル策定に貢献した。

※ 環境省の政策支援

問い合わせ先：資源循環研究部 石田貴、田村崇 【03-5228-6541】

キーワード

地球温暖化防止, 温室効果ガス削減, 省エネルギー